

2020年8月24日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 92 「学校における予防的なアプローチのおもしろさ・むずかしさ」 内田 香奈子 (鳴門教育大学)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■2020年度の健康心理学研修会の開催について (研修委員会より)
今年度の健康心理学研修会は「コロナ禍での健康心理士の役割と実践」をテーマとし、第33回バーチャル大会にて122回 (早稲田大学 竹中晃二先生), 123回 (関西福祉科学大学 山田 富美雄先生) の研修会を予定しております。研修会は、事前申し込み事前支払い制です。詳細は、学会ホームページ「研修会」をご確認下さい (9月上旬掲載予定)。

■Journal of Health Psychology Research の Vol. 33, No. 1 がJ-STAGEにて公開されています

掲載論文は、下記URLからご覧いただけます (閲覧には購読者番号とパスワードが必要です)。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jhpr/list-char/ja>

*購読者番号およびパスワードは、下記の会員専用ページでご確認いただけます。

<https://bunken.org/jahp/mypage/logins/login>

<原著>

- ・原 真太郎 (他) Metacognitions Questionnaire-Insonnia 短縮版の開発および信頼性と妥当性の検討。
- ・上地 広昭 (他) 肥満および生活習慣病の予防を目的とした脅威アピールの効果
- ・吉田 佐保子 (他) 肢体不自由児を育てる母親の子育て中の心理状態に関する検討—高等部に在籍する子どもの母親を対象に—。

<資料>

- ・後藤 貴浩 (他) 肢体不自由者の運動行動の変容段階と関連する要因の予備的検討。
- ・本間 拓人 (他) コンピュータ心身症状尺度の開発。
- ・菅原 大地 (他) 日本語版 DPES 作成の試み。

2) 健康心理学コラム Vol. 92

「学校における予防的なアプローチのおもしろさ・むずかしさ」
内田 香奈子 (鳴門教育大学)

心身の健康や適応を守るための予防教育プログラムの開発に携わり約10年が経ちました。始めた頃は苦労も多くありましたが、今では子どもたちが楽しみながら参加できるプログラムへと進化しています。教育効果も多角的な検証を続けています。たとえば、自律的なセルフ・エスティーム (Self-Esteem: SE) を高める教育の実施前後に、児童用紙筆版 SE 潜在連合テスト (the paper and pencil version of the Self-Esteem

Implicit Association Test for Children: SE-IAT-C) を用い、SE の潜在的側面について検証しました。その結果、自律的なSEを高めるプログラムの教育効果を確認しています (横嶋他, 2018)。また、Uchida et al. (2016) ではプログラム実施前の潜在的感情 (Implicit Affect: IA) が教育効果に及ぼす影響を検討し、IA の正負両面の高さ、つまり、潜在的感情全体の高さが、感情教育プログラムの効果を高めることを確認しています。プログラムの実施は子どもたちがどのような状態にあるとき、より介入効果を高めるのか、そのためにはどのようなアプローチが効果的なのか、今後も検討を進めたいと思います。

なお、所属する大学ではプログラムが実践可能な教育者育成のための授業も開講しています。ある日、生活習慣病予防プログラムの講義をしたのですが、翌週、同授業の教室に入るとコーラを美味しく飲む学生さんの姿が・・・！研究者や授業者としてさらなる修行が必要なようです。

引用文献

横嶋 敬行・賀屋 育子・内田 香奈子・山崎 勝之 (2018). ユニバーサル学校予防教育「自己信頼心 (自信) の育成」プログラムの効果—児童用紙筆版セルフ・エスティーム潜在連合テストを用いた教育効果の検討— 学校保健研究, 60, 5-17.

Uchida, K., Yokoshima, T., & Yamasaki, K. (2016). Effects of implicit affect on emotional coping and school adjustments: A short-term longitudinal study with intervention programs. European Psychiatric Association, Madrid, March 15, 2016.

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>